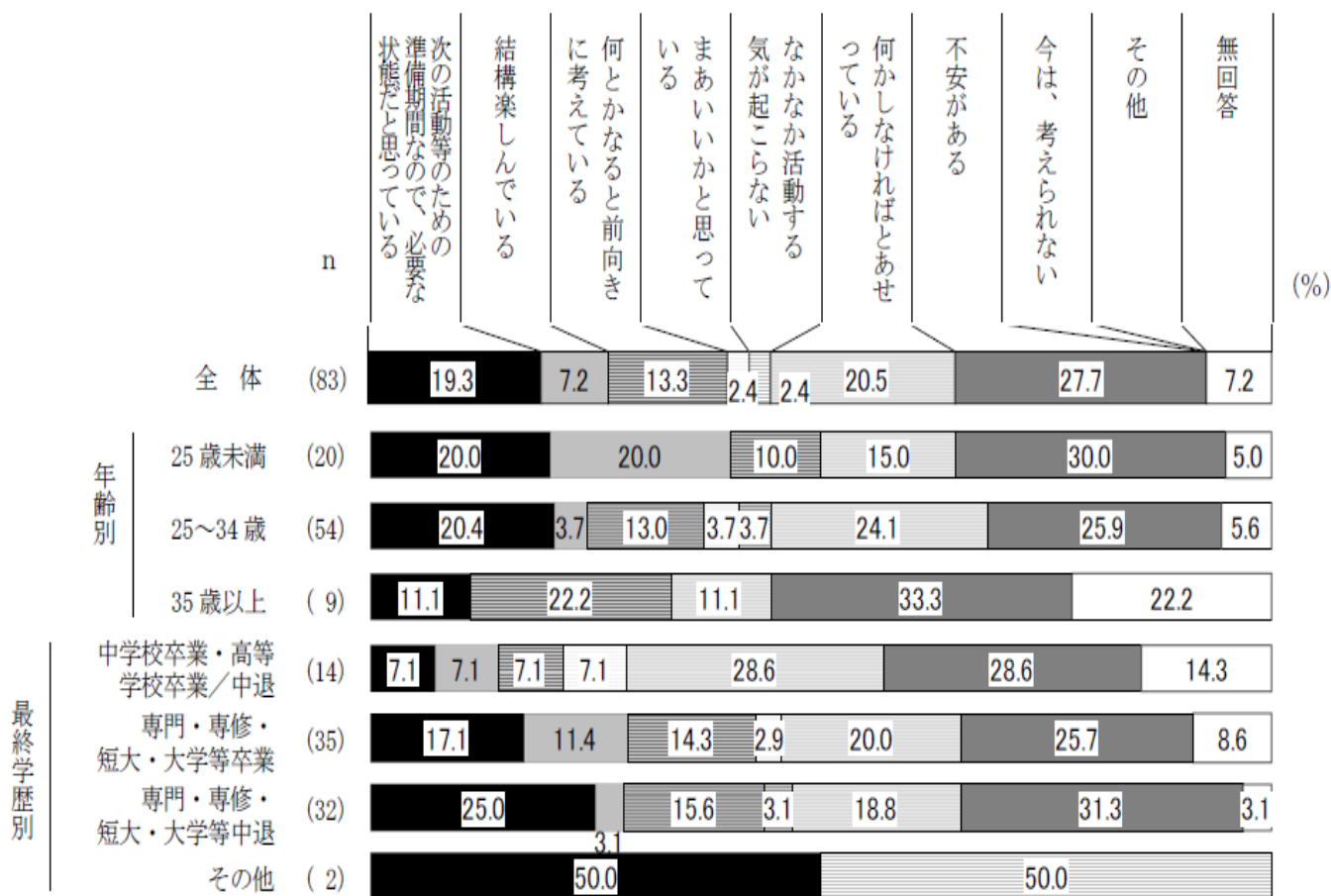


【図 3】

若年無業者の生活意識

－自分の今の状態に対する評価－



－若年無業者に対する調査結果から－

- ◆若年無業者だからといって、必ずしも本人が現在の状態について、不安やあせりを感じているわけではないが、25歳以上の層と中学・高校卒業・高校中退層でより強く不安やあせりを感じている
- ◆楽しく、生きがいを感じる時は、「家族と一緒にしゃべりをしている時」(28.9%)で、家族間の親密度が高いことがうかがえる。逆に、「友人と一緒に食事をしたり、しゃべりをしている時」は4.8%と低くなっており、交流関係の範囲が狭く、社会的関係性が希薄であることがうかがえる
- ◆離職した理由は、「病気・怪我」が4割を超えて最も多いが、対人関係、将来への不安、仕事内容が向いていない、という回答もそれぞれ32.1%と多く、無業者になった理由は個々さまさまである
- ◆ほとんどの若年無業者が就労の意向を示している(84.5%)が、「就労の意向はあるが、不安も残る」も3割台半ばと多くになっており、就職への意志や希望がストレートに求職活動へと結びつかない若年無業者の増大を裏付けている

<平成19年3月横浜市青少年自立支援研究会提言 より>